

くだものがある幸せ

東京都東村山市立回田小学校 五年 小林 桜花

私は、いつも塾に行く時、かならずお弁当を持つ。母が作ることもあるが、主に祖母が作ってくれる。パカッとお弁当のフタを開けると、思わず私は、ふっ、と笑ってしまう。それは、フルーツが入っているからである。よく入っているのはキウイフルーツだが、たまに私の大好きなぶどうがあると、飛び上がるほどうれしくなる。

ぶどうにも、様々な種類がある。その中でも、シャインマスカットは格別だ。だが、値段が高い。でも、ここで落胆してはいけない。せん定、受粉、摘花：さまざまな工夫をしている。相応の値段なのだ。値段を見て、もうちよつと低くしてくれないかなー、などと思つたら、もうその人は一生おいしいフルーツを食べられないだろうなど、私は思う。

くだものは良いことばかりである。私は、副読本にのっていた、くだもののある一つのことにおどろいた。それは、くだものはエネルギーが低いということだ。エネルギーは、甘い物に全て、いっぱいふくまれていると思つていた。なのに、くだものにはエネルギーが少ないと知つて、おどろいた。

くだものは、本当にすばらしい食物だと思う。栄養もとれて、エネルギーが低く、甘くて、おいしい。こんなにおいしいものを、みんな、当たり前と思つて食べている。でも、全部農家さんのおかげなのだ。もっとみんなが、くだものを大切に思い、味わって食べてほしいと思う。

私たちは、ありがたく思わなければいけない。農家さんたちがたくさん工夫をし、苦労して育ててくれていることを。そして、そのフルーツをもっと知ることが大切だ。農家さんたちが、苦勞し、汗を流しながら作ったくだものを食べる。それができる私たちは、とつても幸せであると、私は思う。日本で作ったくだものを、食べ続けていきたい。